

# 火は見 あな

益子 和則 (7)	秋元 正己 (4)	功績章	優良分団 (竿頭綬) 第5分団第3部	栃木県消防協会南那須支部長表彰	親子消防団員表彰	吉澤 通夫 (10-2)	吉澤 信隆 (10-2)	土田 晶久 (11-1)	橋本 隆治 (10-2)	薄井 忠人 (10-2)	手塚 純一 (9-1)	佐藤 正昭 (8-3)	星 治 (8-2)	小船 郁夫 (7-1)	高野 勝也 (5-3)	石田 正義 (5-1)	岡 勝 (4-1)	藤田 勝 (3-2)
	福田 忠義 (6)							青木 祐一 (11-1)	橋本 秀一 (9-1)	宮本 敬 (8-3)	渡邊 光博 (9-1)	塩原 和幸 (8-1)	鶴蒔 重之 (6-1)	岡本 勇一 (5-1)	高野 寛 (5-1)	高山 義彦 (5-1)	益子 研一 (3-2)	

## 那珂川町消防団長に大金市美氏



地域住民の生命や財産を守るため活躍している那珂川町消防団員は現在、587名です。  
その団員を束ねる新団長には、平成19年4月、大金市美氏（大内）が就任しました。

塚原 章一 (22)	藤田 正一 (37)	功績表彰	優良分団	勤続章 (5年)	星 勇一 (1-3)	久保 裕史 (1-3)
内田 則克 (21)	齊藤 健次 (33)	第1分団 第7分団	( ) は勤続年数	坂尾 宗則 (4-2)	桑野 正浩 (6-3)	
				中田 正則 (1-2)	吉成 和人 (1-4)	
				埴 和広 (2-2)	神岡 浩史 (2-3)	
				小高 義弘 (3-1)	小高 博史 (3-1)	
				岸 昌宏 (3-2)	酒主 雅俊 (3-1)	
				田代 賢志 (6-1)	岡 忠幸 (6-1)	
				星 恵文 (6-2)	齊藤 洋一 (6-2)	
				深沢 修司 (7-1)	創史 (6-3)	

鈴木希巳枝 (白久)	薄井 幸枝 (小川)	川上登紀子 (恩田)	阿久津智子 (浄法寺)	岡 よし子 (大山田下郷)	川和ミチエ (大内)	齋藤 理加 (久那瀬)	秋元 直美 (北向田)	酒主きぬ江 (和見)	大金 幸子 (馬頭)	小高 郁 (馬頭)	優良火気取扱者表彰	団長表彰	小松 正紀様 (大子町)	消火協力者	小室 淳一 (20)	穴山 正一 (20)	大金 正幸 (21)	大金 康幸 (20)
------------	------------	------------	-------------	---------------	------------	-------------	-------------	------------	------------	-----------	-----------	------	--------------	-------	------------	------------	------------	------------

## 携帯電話で119番通報をするとき！

### 携帯電話で119番通報した時の流れ

南那須管内から119番通報をすると、南那須地区広域行政事務組合消防本部烏山消防署が受信します。その後、火災発生地域の消防署、分署へ転送または連絡されます。

- ★災害発生場所をしっかりと確認し、必ず町名を伝えましょう。
- ★自動車など走行中の場合は、必ず安全な場所に停車してから通報しましょう。
- ★携帯電話で所轄消防署の加入電話へ直接通報すれば所轄内の消防機関が応答します。

### 管内の消防機関の加入電話番号

馬頭分署 ☎0287-92-2800  
小川分署 ☎0287-96-2188

もしもの時にあわてないよう、携帯電話へ登録しておきましょう！

## 天ぷら油による火災に注意！

建物火災の出火原因をみると、ガスコンロが原因によるものが最も多く、これらの火災の大半は天ぷら油等が起因しています。天ぷら油は温度が発火点（360℃～380℃）以上になれば、火種がなくても発火して燃焼を始めます。

一般に家庭で使用する油量程度の天ぷら油を家庭用ガスコンロで加熱すると、約5分で揚げ物に適した温度（約160℃～200℃）に達し、そのままの状態でも放置しておくと約10分で異臭とともに白煙が立ち始め、ちょっと目を離れたときに火災になってしまいます。

天ぷら油火災の多くは、天ぷらを揚げている時に来客、電話、子どもの世話などでガスコンロから離れた時のような、ちょっとした油断が原因で発生しています。いったんコンロに火を付けたら、絶対にその場を離れない、離れる必要がある時はコンロの火を消してから離れる習慣をつけることが重要です。

もし、天ぷら油火災が発生した場合は消火器で消火することが確実ですから、消火器を備えておくことで安心です。

## 故岡進氏に瑞宝双光章

去る7月20日にお亡くなりになられた元旧馬頭町並びに那珂川町議会議員岡進氏（盛泉）は、生前の功績が認められ、瑞宝双光章が授与されました。

在りし日のご活躍を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## 故金子正一郎翁に従五位

去る8月25日にお亡くなりになられた名誉町民金子正一郎翁（馬頭）は、生前の功績に対して従五位に叙されました。



## 福嶋丈夫さんが地方教育行政功労者表彰

長年にわたり、本町の教育の発展と充実に貢献されてきた福嶋丈夫さん（芳井）が、平成19年度地方教育行政功労者表彰で文部科学大臣表彰を受賞しました。



福嶋さんは、昭和63年から平成18年までの18年間、旧小川町教育委員会委員・那珂川町教育委員会委員を在任されました。その間6年間、教育委員長を務め、地区教育行政の円滑な運営のため献身的に尽力されました。

## 岡誠一さんが中学教育60年記念教育功労者表彰

長年にわたり、中学校教育の振興に貢献されてきた元馬頭中学校長岡誠一さん（久那瀬）が、中学校教育60年記念教育功労者表彰で文部科学大臣表彰を受賞しました。



岡さんは昭和41年、馬頭町立大内中学校を振り出しに、平成15年馬頭中学校長を退職するまでの38年間、学校教育の充実と発展に献身的に尽力されました。

## 図書館ボランティアたまご

## 『楽しい絵本と紙しばい365日』活動始めて10年目

毎月第1・第3水曜日に馬頭図書館で未就園児（0歳～3歳）を対象に絵本などの読み聞かせのボランティアたまごが「楽しい絵本と紙しばいの会」を開催しています。

代表の高橋美幸さん（馬頭）が読み聞かせの講習会を受講し、10年前に発足しました。

このボランティアたまごは、その後、参加者のひとりだった黒川真理子さん（馬頭）と嶋崎有子さん（小口）も読み手として参加し、現在、3人で活動しています。

読み聞かせのコツを聞いたところ、「子どもたちの反応を見ながら、臨機応変に読み方を変えたり、会話・問いかけ等でコミュニケーションを図るように心がけています」と答えてくれました。

晴れた日には野外で開催し、自然に触れる機会を設けるなど、「子どもたちが絵本を機に様々なことに興味を持つよう、また、読み聞かせを家庭で実践することで家族間の交流が深まればと思いついて活動しています」と話していました。

興味のある方は、是非、ご参加ください。

問い合わせ 馬頭図書館

☎0287-9215015



左から黒川さん、高橋さん、嶋崎さん



# 北沢の不法投棄の 解決に向けて(25)

今回から、町民の皆さまが疑問に思っていることについてお知らせします。

「北沢地区へ不法投棄された量が、投棄当時と変わっているのはなぜですか？また、処分しなければいけない量はどの位あるのですか？」という質問がありました。北沢地区に不法投棄が発覚したのは、平成2年のことです。県では再三にわたり搬入の中止と撤去を指導しましたが、投棄が続けられました。この時に投棄者に対して警察が調査により確認した量が<sup>※1</sup>11,700㎡で12,000㎡です。

また、平成10年には町と県で北沢不法投棄物に有害物質が含まれているかどうかを調査する性状調査を行いました。その際に推定35,000㎡という数量が報告されています。

さらに県では、町からの要望等も踏まえ、平成12年に北沢地区不法投棄物の詳細調査

(投棄物の量、投棄物の種類、有害物質の有無)を実施しました。現地での平面測量や縦横断面測量の結果、不法投棄物の量は約31,000㎡と推計されました。また、処理のため現在の位置から運搬することになると、今まで圧縮されていたものを掘り起こすことになり容量が増加します。その容量増加率を考慮して約45,000㎡と推測され、さらに、そのときの調査で投棄地周辺で油分の汚染が見られたため、その部分も撤去運搬するとした場合、概算量として3,900㎡で、容量増加率を考慮し約5,700㎡となり、最終的に必要な撤去量は約51,000㎡と推測されます。

「北沢地区の不法投棄物はどんなものが投棄されているのですか？また、有害な物質は含まれているのですか？」

という質問もありましたが、これについては、詳細調査結果で確認されたものとして、廃プラスチック類、金属くず、ゴムくず、ガラスくず、建設廃材の安定5品目<sup>※2</sup>と木くず、紙くず、プリント基板、顔料、ビニールシート、医療系廃棄物、自動車部品(バンパー、オイルエレメント、タイヤ等)、焼却灰等になります。これはあくまでも、投棄地数カ所の試掘の結果ですから、投棄物の全てを把握したものではありません。全てを調べるといことは投棄物全てを移動(撤去)するしか方法はありません。有害物質については調査の結果、ダイオキシン類が検出されたほか、鉛や揮発性有機化合物が環境基準を上回って検出されています。

※1 ㎡(立方メートル)は立体によって占められる空間の大きさをいいます。t(トン)は立体の重さです。通常、水1㎡≒1t≒1,000Lです。

※2 安定5品目とは、廃プラスチック類、金属くず、ゴムくず、ガラスくず、建設廃材です。

## 最終処分場を視察しませんか？

町と県では、町民の皆さまに実際の処分場を見ていただき、処分場がどんなのかを理解していただくため、次により最終処分場の視察を実施します。

**視察先** 埼玉県環境整備センター(埼玉県寄居町)、エコフロンティアかさま(茨城県笠間市)、その他要望の施設  
**対象者** 那珂川町に住所を有する団体・グループ・個人  
**申し込み** 環境整備対策室 ☎0287-92-1110  
**実施期日** 申し込み団体等と調整のうえ決定します。

## 相談窓口の開設

馬頭最終処分場についての相談窓口は、毎月第1水曜日に開設しています。町民の皆さまの疑問にお答えし、ご意見やご要望をお伺いしています。相談日以外でも県または町にご相談ください。

**相談日時** 12月5日(水曜日)午後1時～午後6時  
**場所** 役場本庁2階 第3会議室  
**問い合わせ** 県 馬頭処分場整備室 ☎028-623-3227  
 町 環境整備対策室 ☎0287-92-1110

## 不法投棄現場周辺にかかる 水質分析結果

(平成19年度第2回年間変動調査分)

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

**調査項目** 健康項目、生活環境項目、その他

**採水日** 平成19年8月6日

- 採水場所**
- 1 周辺環境水
    - (1) 投棄地直下河川
    - (2) 小口川上流
  - 2 投棄現場
    - (3) 投棄地下流側浸出水
    - (4) 投棄地内浸出水

### 調査結果

周辺への汚染拡大の兆候は認められない。詳細については、環境整備対策室にお問い合わせください。